

91名の新入生の皆様、入学おめでとうございます。皆さんの京都医療科学大学への入学を、教職員を代表して心より歓迎いたします。

新入生の皆さんの心の中は今、新しい大学生活への期待と同時にこれからの大学生活がどうなるのだろうかという不安も多いことでしょう。しかし安心してください。皆さんの不安に対しては、我々教職員が一丸となって対応させていただきます。どうか心配せず有意義な学生生活を送ってください。この4年間はおそらく皆さんにとって、人生で最も楽しい時期になるのではないのでしょうか。ぜひ有意義な学生生活を過ごしてください。

本学はもうすぐ創立100周年を迎える、日本で一番古い診療放射線技師の養成校です。これまで多くの卒業生を輩出しており、皆さんの先輩方が全国の多くの病院や診療所などで活躍しています。

皆さんにはつぎに述べる3つの方針に基づいてしっかり学んでいただきたいと考えています。第一に放射線に関連のある画像診断装置や治療装置などを扱う専門家として、技術的な知識とそれを最大限活用する方法を学んでください。今後診療放射線技術の専門家として、周囲から大いに期待されます。

第二に学んでいただきたいのは、医療チームの一員としての活動です。この100年の間に診療放射線技師の仕事はどんどん増えました。特に最近は医師や看護師を含めた医療チームの間で仕事の分担（ワークシェアリング）が進んでいます。さらには2021年からは、診療放射線技師が患者にCTやMRIの造影剤の注射、さらには画像診断の補助などができるようになるなど、業務の移行(タスクシフト)が進み、仕事内容も変わってきます。それに対応して本学はもちろん、全国の学校でこれまでと違った新しいカリキュラムで教育・研修できるようになっています。ぜひ技術専門家として周囲との人間関係を大切にしてください。

第三にお願いしたいのは、診療業務の上で接する機会のある患者さんに対する的確な態度を学ぶことです。病院では病に苦しむ人を対象にします。画像診断などを通してその病を最初に目にするのは、診療放射線技師となる皆さんです。皆さんには的確な診断・治療とそれを容易にする画像や治療技術の提供はもちろん、患者を思う優しい心、

患者に寄り添う姿勢を大切にしてほしいと思います。大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、語学、コミュニケーション、倫理学など、社会人として必須となる一般教養も学びます。これらは仕事と無関係に見えるかもしれませんが、毎日の仕事には社会常識・一般教養が欠かせません。なぜなら、社会常識や一般教養というのは専門的な知識を学ぶ上で基礎となり、また精神を深め、豊かにするものでもあるからです。皆さんには4年間の大学生活でこれらのことを習得し、特に医師をはじめ、医療チームを作る医療従事者の中心的な存在として、十分な意見交換を尽くしていただきたいと考えています。

時代はどんどん進んでいます。それと共に医療技術も急速に進歩します。それに対応するには、自分で一生懸命調べ、自ら主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。ぜひ大学時代に「変化に対応できる知性」、「新しい時代、混沌とした社会に対応できる能力」を身につけてください。

本学の財産は、長い伝統と多くの先輩を有することです。新入生の皆さんがこの伝統を継承・発展させ、さらに良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来「品性を陶冶し、有為の技術者を養成する」です。皆さんを品性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教職員の使命と考えています。

皆さんが本学において、実り多い楽しい学生生活を送ることができることを心から願ひ、私からの歓迎の言葉とさせていただきます。

令和5年4月8日

学校法人島津学園 京都医療科学大学

学長 玉木長良